

経営体の概要

- 所在地：佐賀県佐賀市久保田町
- 経営体名：久保田地区無人ヘリ利用組合
(H12年組織) ドローン防除対象
- 農地面積：水稻44ha、大豆24ha
 - オペレーター：14名（令和5年5月現在）

導入技術

- 農薬散布用ドローン（DJI社製 MG-1SA 1台）
（平成30年度から活用）



無人ヘリ利用組合員



オペレーターによる防除作業



ドローンによる飛行の様子

導入経緯

- 近年、久保田地区は市街化が進み、住宅に近いほ場や交通量の多い道路に面するほ場など無人ヘリでは防除が困難な場所が増えてきたことから、JAのモニター販売により農薬散布用ドローンを導入し、無人ヘリ防除との連携により効率的に防除作業を実施。

取組の特徴・効果

- 小回りが利き、住宅に近いほ場などでも散布が容易となった。
- 軽量で積みおろしも手間がかからず、無人ヘリより 1 人少ない人数（3 名）で作業が可能。家屋への衝突等の事故の影響も小さくなることから、作業員の精神的負担が軽くなった。
- 機体の高度をオペレーター目線まで下げることができ、散布状況を確認できる。
- 騒音、ドリフト、洗濯物への影響などがヘリと比べて小さく、住民から苦情が減ってきた。
- 若手オペレーターの確保・育成に努めている。
- 水稻の場合、1日10haの防除が限度で、面積を拡大しようとする、その分、台数と人員が必要となり、拡大は難しい。